

第2学年 英語科

1. 英語って何を勉強する教科？

英語学習には、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4つのポイントがあります。英語は日本語と同じく「言語」です。みなさんは生まれた時から日本語がペラペラでしたか？小さい頃からたくさん漢字が書けましたか？たくさん使って、何度も間違えて覚えたはずです。英語も「使うこと」が何よりも大切であり、習得の1番の近道です！

日本語を身につけるにしても、みなさんはこれまで10年間以上、たくさん「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」練習をしてきました。当然、英語だって身につけるためには同じくらいの努力が必要です。逆に、本来は言葉を身につけるといふことに「苦手」はないはず。赤ん坊のように、「分かってほしい！話してほしい！」という関心、意欲がその努力を「苦労」「大変」ではなく「ワクワク」に変えてくれるはず。

2. 学習の仕方

○授業の中で大切にしてほしいこと（授業の受け方等）

- (1) きちんと準備をし(教科書、ノート、ファイルなど)、忘れ物をしない
- (2) 予習と復習を行う
- (3) 音読練習は、声を出して練習する
- (4) ノートは丁寧に作成する
- (5) たくさん英語を使う

○家庭学習で（継続して）取り組んでほしいこと

- (1) 計画をしっかりと立て、見直しをもった家庭学習を行う
計画通り、毎日、実行することはもちろん重要です。しかし、なかなか計画通りにはいきません。大切なことは、「変更・見直し」をするということです。
- (2) 授業・課題の中心は、教科書とワーク
ワークは、基礎問題・応用問題・発展問題（自己表現等）からなっています。答え合わせをして、自分が間違えたところは、正解するまで繰り返し取り組みましょう。自主ノートを活用し、計画的に学習を進めることも大切です。

A：暗記する内容・・・短時間で、繰り返し行いましょう。

ア：単語・熟語・基本文・・・目で見て、口で発音して、耳で聞いて、覚えましょう。

イ：教科書等の本文・・・声に出して読みましょう。

B：理解して覚える内容・・・時間を確保し、理解しながら、必ず書いて覚えましょう。

(文法・問題等)

☆(1)(2)の他に、もっと英語を頑張りたい人は次のことをやってみるのもアリですね！

- ① 英語の音楽を聴いてみる・・・Youtubeでディズニーの曲や、世の中で話題になっている曲を聴いてみるのがお勧めです。
- ② 英語の映画を字幕付きで見える・・・内容がわかっている映画を英語で見返すと英語を聞く力が身につけてきます。
- ③ SNSで外国の有名人をフォローしてみる・・・Twitter, Instagramで気軽に英語を目にすることができます。
- ④ ALTの先生に話しかけてみる・・・初めは「Hello!」から。少しずつ会話ができるようになるかもしれません！

3. 一年間の学習内容と目標 (何ができるようになってほしいのか)

※目標を達成することができたら○をつけ、自己評価しましょう。

	2年学習到達目標	関連箇所	1学期	2学期	学年末
聞くこと	① はっきりと話してもらえば、短いスピーチや説明のあらましや大事な部分を理解することができる。	Tips1			
	② 活動のやり方などの説明や指示を聞いて、適切に応じることができる。	Tips1			
読むこと	① 手紙などの文章を読んで、書き手の意向（伝えたいこと）を理解することができる。	Tips2 /Reading L8-3 Further Reading			
	② ポスターなどを読んで、自分に必要な情報を読み取ることができる。	視聴覚資料			
話すこと 【やり取り】	① 知らない語句があっても別の表現を使ったりしながら会話を続けることができる。	Tips6 Activities Plus			
	② 教科書の題材について知っていることや読んだ内容の感想などを伝えることができる。	とびら/L1-1,2,3/ L3-2,3/L5-3/L6-1/L7-2,3/L9-1			
話すこと 【発表】	① 身近なものや人物について、その特徴などを即興で相手に説明することができる。	L3-1			
	② メモをもとに、大事なことを落とさずに相手に伝えることができる。	Project			
	③ 読んだことの内容について、絵や図などを参考にしながら、相手に伝えることができる。	Tips4 L8-2			
書くこと	① 考えを整理して、まとまりのあるスピーチ原稿を書くことができる。	Tips3 Tips5			
	② 自分の経験や感想を読み手にわかりやすく書くことができる。	L6-3			
	③ 教科書の文章に、自分で考えた英文を加えて書き、話を発展させることができる。	L2-1,3 / L4-2 L5-1,2 L8-1 / L9-2,3			

4. 評価の観点・内容及び評価方法

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の4技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ●外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解している。 <p>《主な評価項目》 定期テストや単元テスト，単語テストなど</p>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的で身近な話題について，学校，地域，他教科などの学習内容と関連付けながら，互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。 ●聞いたり読んだりしたことなどを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 <p>《主な評価項目》 会話やスピーチ，プレゼンテーションなど</p>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ●他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ●言語やその背景にある文化に対する関心を持って，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 <p>《主な評価項目》 授業中の挙手や発表，積極的な活動参加の態度など</p>

☆英語は、『話すこと（やりとり・発表）・書くこと・聞くこと・読むこと』の4技能・5領域です。そして、その5つを支えるのが、『関心・意欲・態度』なのです。間違いを恐れず、積極的に授業に取り組むことが何よりも大切です。また、評価・評定は、定期テストだけでなく、普段の小テスト、夏休みなどの長期休業後の課題確認テストに、授業への取り組み等を加えて、総合的に判断します。